

情報収集は地道にコツコツ、みんなで協力して

林, 豊
九州大学附属図書館eリソースサービス室

<https://hdl.handle.net/2324/1543631>

出版情報 : 大学の図書館. 34 (9), pp.197-200, 2015-09-25. 大学図書館問題研究会
バージョン :
権利関係 :

報をこそきちんと拾っていきたく意識しています。

3. 観測範囲

現在は、大学図書館（特に学術情報流通）にウェイトを置きつつ、その他の館種の図書館や、博物館・文書館、大学職員、情報政策、IT といった近接領域も広く眺めている感じ です。

ポジションや勤務先が変わるにつれて、手法や観測範囲、求める精度は変化してきていますが、インターネット上で公開されている情報をいち早くチェックしていくという基本的なスタンスは変わっていません。紙媒体のみに掲載されている情報は広がりを持ちませんし、特別なコネがないと入手できない情報というような格差は好みではないので。

4. 主なツール・情報源

自宅では Mac、移動中はスマートフォン、職場では Windows という環境で生活しているので、なるべく OS に依存しないウェブサービスを利用するようにしています。

(1) Feedly (RSS リーダー)

長年愛用していた Google Reader が終了し、現在は Feedly を使っています。Mac や Windows からはブラウザで見えますが、スマートフォンでは Reeder (iPhone) や Press (Android) というアプリからチェックしています（あとで読む系サービスの Pocket と相性が良く、スワイプで保存できるので）。

以下は、登録しているサイトの一例です。現在処理しているフィードは、純粋に図書館関係に限れば一日数百件程度、そのうち本文までじっくり読む必要があるものは十数件程度という感じでしょうか。

- a) アグリゲーター: INFOdocket, Research Information, Library Technology

Guides, Current Cites, CA ポータル、STI Updates、情報資源センター・ブログ、笠間書院、リブヨ・ブログなど

- b) 主要組織・企業: NII, JST, 文部科学省、総務省、内閣府、IFLA, BL, ARL, OCLC, HathiTrust, CrossRef, Jisc, Elsevier, ProQuest, Serials Solutions, EBSCO, Ex Libris など
- c) 新着雑誌記事 (海外): The Journal of Academic Librarianship, Serials Review, College & Research Libraries, D-Lib Magazine, Library Hi Tech など十数タイトル
- d) 新着雑誌記事 (国内): NDL 雑誌記事索引, CiNii Articles を「図書館」で検索した結果

なお、d) については、Feedly と IFTTT というサービスを組み合わせ、新着雑誌記事をツイートする @libraryarticles というアカウントを運用しています^[3]。

(2) はてなアンテナ (有料版)^[4]

ウェブページの URL を登録しておくで更新されたときに教えてくれるサービス。日本全国の図書館 (大学や都道府県立など) のウェブサイトの URL を登録しています (リンク集を使って一括登録)。RSS に対応していないサイトも多いため、網羅的にチェックするためにはこういったツールが必要になります。

(3) はてなブックマーク (はてブ)^[5]

ソーシャルブックマークサービス。はてブでブックマークしたりタグやコメントをつけたりしていると、まるで NACSIS-CAT で書誌を作ったり、所蔵を登録しているような気分になってきます。このなんともいえない“協働”の感じは、図書館員のメンタリティにじっくりなじむと思っています。「世界から未読をなくす」というサービスのビジョンも、非常に図書館員好みではないでしょうか。

使うときのポイントは、

- ・アカウントはぜひ公開で
- ・ブラウザに「はてなブックマーク拡張」や「はてなのお知らせ拡張」をインストール
- ・他人やいつかの自分のために、きちんとタグやコメントを入れてブックマーク（例えば図書館ネタには「図書館」タグを。コメントはGoogleでも検索可能に）
- ・特定のテーマに詳しいひとをお気に入り登録して、そのブックマークをチェックといった感じです。

なお、図書館タグがついたウェブページをツイートする@hatebulibraryというアカウントを運用しています^[6]。これをフォローして見ていただくだけでも、日本の図書館の“いま”が感じられます。

(4) Google アラート

「大学」「図書館」などの一般的なキーワードを登録しています。お使いの方が多からでしょう、ここで見かけるような情報はたいていは経路でフォローできるという印象です。

(5) メールマガジン

見逃していたネタを教えてもらえるという意味では、「きまぐれにゆ〜す（専門図書館ML）」^[7]と「ラーコモラボ通信」が気に入っています。他にもいろいろ登録していますが、じっくり読んでいるのはElsevier Library Connect Newsletterなど業者系のものが多いです。

(6) メーリングリスト (ML)

海外のMLを中心に十数種ほど購読しています（暇なときに読む感じ）。例えば、IFLA-L、Eastlib、CODE4LIB、GOAL、JISC-REPOSITORIES、LIS-E-RESOURCES、opendiscoveryinfoなど。海外のMLを探すときは、「[テーマ名] △listservs」とググってみ

てください。

(7) Twitter、Facebook

正直、仕事用の情報収集の方法としてはサブ的な位置付けになっています。TwitterやFacebookで見かける情報はだいたい他でも得られるし、同じニュースが（表現を変えて）繰り返し流れてくるので労力が重複しがちだからです。@openaccess_rrというアカウントで知りましたが、Right Relevanceというサービスは最近気になっています。

5. ワークフロー

多くの方がそうだと思いますが、読むべきものを短時間でピックアップ→あとでじっくり読むという二段階で処理しています。だいたい、朝の通勤電車でRSSをチェックし、メールは適宜処理、重要なニュースは昼休みや空いた時間にじっくり読むという感じです。一日にかけている時間はトータルで二時間程度でしょうか（現在の通勤時間は往復一時間弱）。

その他の工夫としては、RSSリーダーへの集中を避け、メール（Gmail）へも分散させています。メールのほうが処理しようという強制力が働きやすく（RSSって溜まりがちですよ）、スピードも早い気がしているからですが、毎日のことなのでこういうちょっとした気分が大切だったりします。

6. おわりに：情報発信のすすめ

情報収集というと最近ではいわゆるキュレーションアプリというものもありますが、図書館のような（残念ながら）ニッチな領域ではあんまり役に立ってこないという印象です。誰かが価値判断してくれた情報を待つのではなく、自分で“色”をつけようとしているのだから当然かもしれませんが……。

繰り返しになりますが、たとえ限られた範囲でも休まずきっちりというのが情報収集の

肝です。そのためには他人にうまく頼ることが大切で、正直頼りっきりでもいいと思います。ただ、情報専門職というのであれば、特定のテーマについて覚悟を持って情報収集し、収集した情報をきちんと発信・蓄積していただきたい、と勝手ながら期待しています（はてなブックマークはそのための手軽なツールです）。「このテーマはあの人に任せておけば大丈夫！」という方がたくさん登場してくださったらみんながハッピーになれるはず、です^[8]。

〈参 考〉

- [1] CA1788—カレントアウェアネス・ポータル*のいまを“刻む”：情報収集活動と未来へのアイデア* / 依田紀久, 林豊, 菊池信彦
<http://current.ndl.go.jp/ca1788>
- [2] 図書館関係の情報の集め方—ささくれ
<http://cheb.hatenablog.com/entry/2012/06/22/000120>
- [3] 図書館関係雑誌の新作記事をツイートする @libraryarticles を作ってみた—ささくれ
<http://cheb.hatenablog.com/entry/2012/11/27/225609>
- [4] はてなアンテナ—kitone のアンテナ
<http://a.hatena.ne.jp/kitone>
- [5] はてなブックマーク—kitone のブックマーク
<http://b.hatena.ne.jp/kitone>
- [6] 図書館タグのつけられたはてブ新着エントリーをツイートする @hatebulibrary を作ってみた—ささくれ
<http://cheb.hatenablog.com/entry/2013/05/07/205404>
- [7] 専門図書館 ML—Google Groups
<http://groups.google.com/group/splib0099>
- [8] 本稿執筆と同時期に情報収集・発信に

ついでにプレゼンを行いました。あわせてご覧いただければ幸いです。北海道の図書館員勉強会でおはなししてきました—ささくれ

<http://cheb.hatenablog.com/entry/2015/09/06/175951>

(はやし・ゆたか / 九州大学附属図書館)
hayashiyutaka@gmail.com